

ちゅ ちむ美らさ

第89号

発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課

住所: 沖縄県名護市大南1-13-11

電話: 0980-52-2752

FAX: 0980-51-1013



目次

1P・第29回土壌保全の日

2~3P・台風対策

(果樹・野菜・花卉)

4P・さとうきびの栽培

・台風対策(かんしよ)

5P・オクラの生育診断

・パイナップルの輪切り

増殖

6P・北部地区青年農業者

連絡会議

第29回 土壌保全の日 開催!

～次世代に残そう! 農地はうまんちゅの宝～

北部地域農林水産業推進会議(会長: 金城寛信センター長)は、「農業生産活動の現場から土壌の流出を未然に防ぎ、地力低下の防止、環境保全を図るため、「土壌保全月間」を設置し、土壌保全関連行事を通して農業生産者の意識啓発と関係者相互の連携を図る」ことを目的に、第29回土壌保全の日を本部町の協力の下、実施しました。

日時: 平成30年6月5日(火) 14:00~16:30

取組:

場所: ①本部町産業支援センター

②本部町備瀬ほ場

内容: ①ミニ講話「営農段階で可能な土壌流出防止対策技術」

講師: 農業改良普及課 知念氏

②グリーンベルト(ベチバー)植栽

作業: 参加者全員



主催者あいさつ
(金城会長)



開催地あいさつ
(平良副町長)



グリーンベルト植栽の様子(左)と植えられたベチバー(右)
(本部町字備瀬)



ミニ講話の様子
(本部町産業支援センター)



(担当: 山口 悟)

バックナンバーはこちら→ <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norin-hoku-nokai/timutyurasa.html>
または右上QRコードでご覧になれます。

台風対策について

～パインアップル～

- (1) 植付後の台風対策として**日焼け防止ネット等をべたがけし、鉄筋等で周囲を抑え**対策しましょう。
- (2) 台風通過後は植え付け苗の芯部に入った土を殺菌剤で除去しましょう。
- (3) 台風通過後、めくれた日除ネットは早急に直し、日焼け対策を行いましょう。
- (4) 収穫前の圃場では、**倒伏防止・鳥獣害対策も兼ねて**パイプ等でささえ、ネットをパッカー等で押さえて、株全体を覆うようにしましょう。



～マンゴー～

○事前対策

- (1) 強化型ハウス等は、内側にもネットを設置すると、防風効果が高いです。(写真)
ただし、パイプハウス等、ハウスへの負担が大き
い場合は、ネットの張り方を工夫する必要があります。
- (2) 台風通過後には、速やかに殺菌剤を散布し、病害防除に努めましょう。また、収穫終了後の圃地については、台風接近前にICボルドーを散布し、台風後の病害予防に努めましょう。



- (3) 台風通過後に塩害の恐れがある場合には、6時間以内に散水して除塩作業を行いましょう。停電に備え散水用の水をタンクに貯めておきましょう。

(担当: 島尻)

～カンキツ～

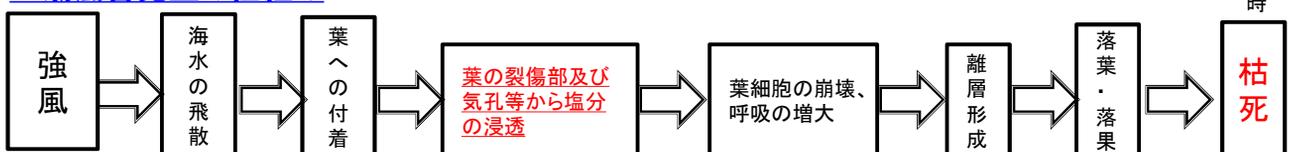
○事前対策

- (1) 高接ぎ園については新梢を支柱、竹等で固定し、枝の折損防止に努めましょう。
- (2) 台風後の病害発生を防止するため、台風接近前に品目に応じた使用可能な**殺菌剤**を散布し、予防に努めましょう。
- (3) 大雨に備えて排水が不十分なほ場の排水対策を行っておきましょう。

○事後対策

- (1) 潮風害の発生のある圃地については、台風通過後**6時間以内**にスプリンクラー、灌水用ホース等を利用し、10a当たり2～3tを目安に樹体を洗い流し、塩分除去に努めましょう。
- (2) 台風後の病害の拡大を防止するため、品目に応じた使用可能な**殺菌剤**を散布し、被害軽減に努めましょう。

*潮風害発生仕組み



被害の
ひどい
時

葉および樹体への浸透を防ぐためにこの時点で塩分を洗い流すことが重要です

(担当: 長堂)

【キクの台風対策事例】

〔事前対策〕

防風ネットを利用して防風対策を行う。



防風ネットのべたがけ



防風ネットの浮きがけ

〔事後対策〕

台風通過後には付着した泥や塩分を洗い流す。



付いた泥を洗い流す



台風通過後のかん水

(担当:上原)

【オクラの台風対策】

強風により株が倒伏または回されることで根が傷み、台風後の回復が遅くなります。台風後に早期の収穫開始を図るため、確実に対策を行いましょう。台風対策には以下の方法があります。



ハウスバンドで株を挟み込んで固定



台風襲来前に切り戻し

メリット

- ・台風後、早期に収穫が開始できる。
- ・台風接近前から事前に準備が可能。

デメリット

- ・台風強さ、風の吹き方によっては倒伏や株が回される可能性がある。
- ・対策に時間がかかる。

メリット

- ・強い台風でも被害を受けにくい。
- ・短時間で対策が可能

デメリット

- ・切り戻し後、収穫が開始できるまで時間がかかる

●台風対策の流れ

① **台風発生前**
ハウスバンドで株を固定

② **台風接近時**
切り戻しを検討

③ **台風襲来後**
散水による除塩

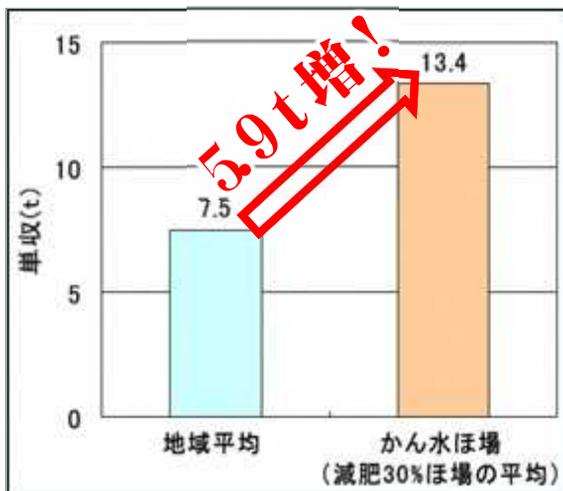
ハウスバンド等による株の固定と切り戻しどちらか選択するのではなく、台風接近前からハウスバンドで固定を行い、台風の強さや株の高さ(その後のどの高さまで収穫できるか)などを考慮して切り戻しを行いましょう。

(担当:知念康太)

さとうきびの栽培について

～適期かん水で単収向上に努めましょう～

梅雨も明け夏本番を迎えるところですが、夏(6月後半～9月)はさとうきびにとって最も生育旺盛な時期です。この時期に水が不足すると、茎の伸びが衰え、収量が低下してしまいます。このことから、雨の有無に関わらず、適期かん水を心がけ単収を向上させましょう！



主なかん水方法

- ・散水車
- ・スプリンクラー
- ・かん水ホース
- ・点滴チューブ等



スプリンクラーによるかん水



点滴によるかん水

本島南部地域(土壌: ジャーガル、作型: 株出)での調査結果では、地域平均単収と比較して約5.9 tの増収効果が確認されています。

※沖縄県さとうきび栽培指針より

～適期かん水・干ばつ対策のポイント～

● 定期的なかん水(6月末梅雨明け直後～9月)

- ・かん水量は生育旺盛期で10a当たり35～40t週に1回程度行うのが理想的です。

- ・干ばつになる前からのかん水が効果的です。

梅雨明け直後から定期的なかん水を行うことで収量向上が望めます。

● かん水以外の干ばつ対策

- ・植付け前の深耕(プラウ、バックハウ)、心土破碎(プラソイラ、サブソイラ)、高培土等を行い、根群域(根っこ)を増やしましょう。また、干ばつに強い品種を選定することも効果的です。



干ばつによるロール現象の様子
(伊是名村: 平成29年8月)

※保水性の低い砂質土壌では、特に被害を受けやすいです。土壌の深い位置への有機物施用等が効果的です。また干ばつ被害はバッタ類の被害も助長させてしまうので、注意が必要です。

オクラの生育診断・・・草姿(草勢)で栄養状態は診断できます！

オクラは草勢は強すぎても弱すぎても収量や品質の低下を招きます。

草勢が強いと・・・茎葉が茂りすぎて通風と光線の透過を悪くし、落花やサヤの色が淡くなる。

草勢が弱いと・・・芯どまり、曲がり果の発生や、生育が遅くなる。

●草勢の見方**草勢が強い** (肥料: 窒素過多)

- ・上から花が見えない。
- ・葉の切り込が浅く、小葉が丸みを帯びている。

○対策

- ・追肥は行わない。
- ・サヤの下の葉まで摘葉し、草勢いを調整する。

**草勢が適正** (肥料: 窒素適正)

- ・上から花がまばらに見える。
- ・葉の切り込がやや深く、小葉がやや丸みを帯び幅は6～8cm。

○対策

- ・追肥は収穫開始後から2週間おきに窒素成分18%の肥料を1穴5g程度置肥。
- ・収穫サヤの下に2枚残して、摘葉。

**草勢が弱い** (肥料: 窒素不足)

- ・上から花がよく見える。
- ・小葉の切り込みが深く、針状に細い。

○対策

- ・追肥、灌水、葉面散布を積極的に行う。
- ・摘葉はひかえ、収穫果の下の葉は3枚以上残す。

草勢が弱い状態で切り戻しを行っても、側枝の発生は悪くなり、収量が低下してしまいます。切り戻し前まで草勢を適正に維持しましょう。

(担当: 知念康太)

パインアップルの輪切り増殖

3～6月は輪切り増殖の適期です。

吸芽やえい芽の発生が少ない品種や新しく導入した品種などパインの母茎を活用して増殖をかけることができます。

- ・母茎は抜き取ったら早めに押し切りで輪切りにする。
- ・適期 (3～6月) に輪切り増殖すると増殖率は高い。
- ・培養土はピートモスとバーミキュライト混合、覆土は薄め。
- ・過湿・過乾燥にならないよう管理する。



包丁で母茎の葉を落とす



押し切りで母茎を輪切りにする



培養土を入れた育苗箱に並べ、覆土



芽が出て育ってきたら外して移植育苗

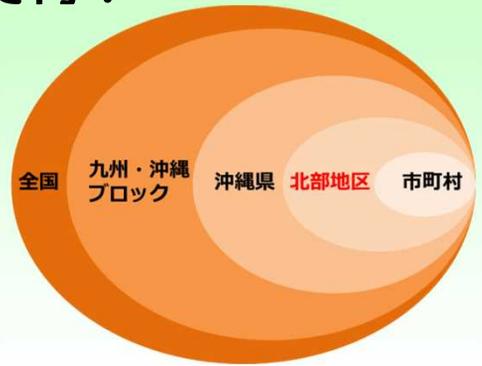
青年農業者組織って何？

構成メンバー

20～30代の若い農業者が中心

目的

身近な課題の検討、新技術の実践、交流会の企画、各種会合への参加等を通して、課題解決能力・技術の習得、組織運営力の習得、人脈作り、資質向上を図る等、農業の担い手としてのスキルを身につける。



いろいろな段階の組織があります

北部地区青年農業者連絡会議

(北部地区の青年農業者組織です！)

北部地区青年農業者連絡会議は、39名（H30.6月現在）の青年農業者や就農予定者の会員で組織されており、全体活動、研究部会活動（耕種・肉用牛）を軸に、仲間作り交流会、各種講習会・視察研修、プロジェクト活動・意見発表活動などを行っています。

様々な活動を通して、市町村や作目の垣根を越えた仲間作り・ネットワークの構築及び今後の農業の担い手としてのスキルの習得・向上を日々図っています。

興味のある方は、農業改良普及課（担当：金城）までご連絡ください。



仲間作り交流会



視察研修(耕種)

H30年度役員体制

会長：福井慎吾（本部町：果樹・野菜）

副会長：荘司幸一郎（名護市：野菜）

会計：新垣勇人（宜野座村：イチゴ）

九州・沖縄青年農業者会議 @熊本



他地区との合同視察& 意見交換会(肉用牛)



H30年度定期総会 会長・副会長あいさつ



(担当：金城聖良)